筑後川遺産保存活用の推進プラン(1)攻める!戦国高良山

【①ストーリー】

耳納山地の西端に位置し、中腹に筑後一の宮高良大社が鎮座する高良山は、古代より上山として崇敬されてきました。一方で、古代には山城である高良山神籠石が築造され、南北朝時代や戦国時代には毘沙門岳城や鶴ヶ城、杉ノ城、吉見岳城、古宝殿城など数多くの山城が築かれるなど、戦略拠点として重要な場所でした。戦国時代、北部九州の覇を争った豊後の大友、肥前の龍造寺は、繰り返し天嶮の要害高良山を奪い合う争いを繰り広げ、戦国末期には島津が迫ります。やがて、豊臣秀吉の九州平定により、この争乱の地は素平の世を迎えることとなりました。

戦国時代の戦乱により、高良山中の多くの寺社が被害を受けたと伝わりますが、高良大社には、紙本墨書平家物語や絹本著色高良大社縁起、高良大社所蔵文書などが伝わっています。また、参道から山中に入ると、随所に寺院の跡や古墓などが残されており、モウソウキンメイチクや紅葉など自然豊かな景観が参拝者を楽しませてくれます。高良大社や麓の寺社には獅子舞などの祭礼、花火動乱蜂など民俗文化財も数多く残り、戦いの山であるとともに、歴史文化が色濃く残るエリアとなっています。



【②構成する歴史遺産】

(国)高良大社本殿・ 幣殿・拝殿、大鳥居 毘沙門岳城

鶴ヶ城

杉ノ城

吉見岳城 計画記録 古宝殿城

- (国) 紙本墨書平家物語
- (国) 高良山神籠石
- (国) 高良山のモウソウ キンメイチク林
- (県)絹本著色高良大社 縁起
- (県) 高良大社所蔵文書
- (県) 祇園山古墳
- (県) 高良山御手洗橋
- (県) 高良大社の楠樹
- (県) 花火動乱蜂
- (市) 高樹神社の石造 狛犬
- (市)高良山獅子舞川渡

など

【③課題】

高良山の自然環境や数々の遺構は時間の流れに伴う荒廃や災害によって失われる危険性があります。また、高良山を散策する人に戦いの山として知ってもらう取組が十分ではありません。

【④未来のストーリー】

豊かな自然環境と石垣や土塁などの遺構をともに守っていきます。山歩きを通して、自然と歴史にふれることで、 心と体の健康増進を図りながら、戦いの山としての高良山を広く知ってもらえるよう取り組んでいきます。

取組の方向

- ○山城関連歴史遺産の調査
- ○山城散策コースの整備
- ○高良山歴史遺産の環境整備
- ○高良山の環境保全
- ○高良山の歴史遺産活用の促進

【⑤体制】 (令和 3 年 6 月時点)

地域	市民	御井町、山川町、高良内町他	
	市民団体	高良山緑と史跡を守る会、NPO 法人久留米ブランド研究会、	
	事業者		
	関係機関	高良大社	
久留米市		文化財部局、観光部局ほか	